



第 59 代理事長 新家一徳

この度、伝統ある大阪菓業青年クラブの理事長という大任を仰せつかりました、新家一徳でございます。

今日まで数々の実績を重ねてこられました歴代の諸先輩方の後を引き継ぎ、いかに発展させて行かなければならないかと思うと、その責任の大きさに身が引き締まる思いでございます。しかし、お引き受けした以上は、会員皆様方と協力して一生懸命務めさせ

て頂く所存でございますので、皆様方のご支援、御協力の程、宜しく願い申し上げます。

今年の二月に全菓連の愛の菓子ということで東北の被災地に青年クラブ代表三名で行かせて頂きました。仙台空港など交通の便に係わる場所は、きれいになっていました。しかし、被災の酷かった地域はまだまだ復興なんてほどとおい状態でした。我々の地元、大阪 決して景気が良いわけではございませんが、普通に生活、仕事が出来ている事にありがたいと思うと同時に頑張らなくてはと感じました。

青年クラブも目の前に 60 周年を迎えておりますが、ただ単にやって来るのではなく諸先輩、協賛会のみなさまのおかげで会の歴史が重ねられていると感じております。今年度は「感謝のこころを」というテーマを掲げ、当たり前となっていることも当たり前じゃなく感謝すべきことなんだと改めて考える一年にしたいと思っております。諸先輩方が継承されてきた、この伝統ある大阪菓業青年クラブが、未来に向かってどのように発展、継続させていくか考え、少しでも形に出来るよう努力するつもりです。どうぞ皆さんご協力いただけますようお願いいたします。

愛の菓子など歴史のある事業の重要性を再認識するとともに、青年クラブの未来のために、今私たちができることを皆で考え実行に移す様にしていきたいと思います。

最後になりましたが、創造豊かで魅力のあるあふれる青年クラブの構築を目的とし、役員一同、一致団結し、進んでまいります。今年一年間、会員の皆様方にはご迷惑をお掛けする事もあるかもしれませんが、多大なるご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しく願い申し上げます。

はなはだ、簡単ではございますが、これをお持ちまして、理事長就任の挨拶と代えさせていただきます。